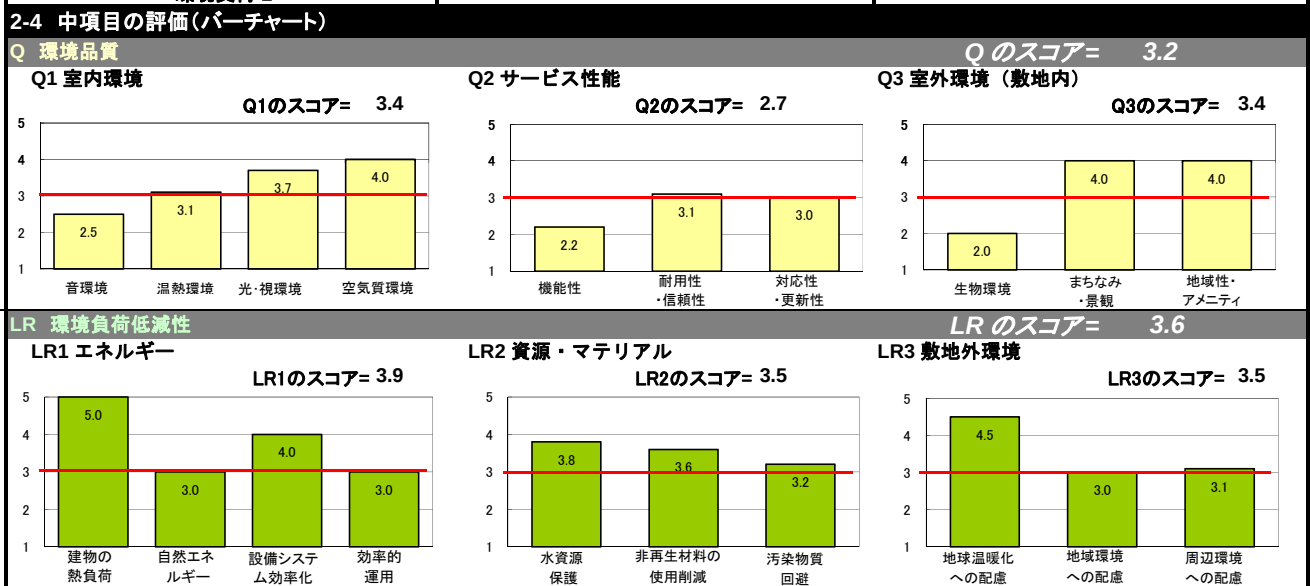
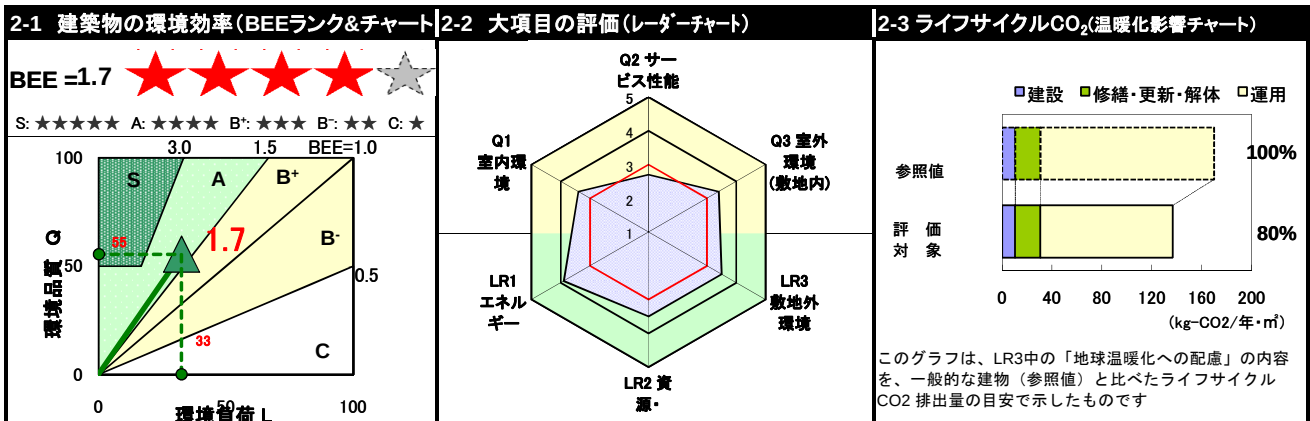


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	赤十字血液センター合同社屋	階数	地上6階、地下-階	
建設地	広島市中区千田町2-5-5	構造	S造	
用途地域	近隣商業地域、第2種住居地域、準	平均居住人員	191 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年5月 予定	評価の実施日	2010年12月20日	
敷地面積	9,739 m ²	作成者	株式会社 梓設計	
建築面積	3,166 m ²	確認日	2010年12月20日	
延床面積	13,535 m ²	確認者	株式会社 梓設計	



3 広島市の重点項目			重点項目の総平均スコア= 3.6	
「地球温暖化対策」の推進			スコア= 3.9	
設計の計画・上特段に配慮した事項			設計の計画・上特段に配慮した事項	
開口部(窓面)をしぼった計画、断熱により負荷を抑えた。/ トップライトを部分的に採用している。/ 居室の照明器具はHf蛍光灯を主体に計画している。全熱交換器の採用。/ 節水型器具を採用した。雨水を便所の洗浄水に利用。内装材に地産産の間伐材を使用。/ 建物の熱負荷抑制、設備の高効率化によるCO ₂ 発生量の抑制。			緑地の確保、排熱場所の考慮による、暑熱環境を緩和。/ 利用者用の自転車置場、駐車スペース及び荷捌き用の駐車スペースを適切に確保。	
「ヒートアイランド対策」の推進			スコア= 2.6	
「長寿命化対策」の推進			スコア= 3.0	
設計の計画・上特段に配慮した事項			設計の計画・上特段に配慮した事項	
			必要更新間隔の長い配管材料の採用。/	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される